

もののことで不信の罪を犯し、ユ

ダ部族のセラフの子ザブディの子であるカルミの子ア
 カンが、聖絶のものゝのいくらかを取つた。そこで、主
 の怒りはイスラエル人に向かつて燃え上がった。
 2ヨシヤはエリコから人々をベテルの東、ベテ・
 アベンベテ・アベンの近くにあるアイに遣わすとき、その人々に来
 のように言つた。「上つて行つて、あの地を偵察して
 来なさい。」そこで、人々は上つて行つて、アイを偵
 察した。

「彼らはヨシユアのもとに帰つて来て言つた。『民を全部行かせないでください。二、三千人ぐらいを上らせて、アイを打たせるといいでしょう。彼らはわずかなのですから、民を全部やつて、骨折らせるようなこととはしないでください。』」

4. そこで、民のうち、およそ三千人がそこに上つたが、彼らはアイの人々の中から逃げた。
5. アイの人々は、彼らの中の約三十六人を打ち殺し、彼らを門の前からシエバリムまで追つて、下り坂で彼らを打つたので、民の心がしなえ、水のようになつた。

6 ヨシアは着物を裂き、イスラエルの長老たちといっしょに、主の箱の前で、夕方まで地にひれ伏し、自分たちの頭にちりをかぶつた。

7 ヨシアは言つた、「ああ、神、主よ。あなたはど

うしてこの民にヨルダン川をあくまでも渡らせて、私たちをエモリ人の手に渡して、滅ぼそうとされるのですか。私たちは心を決めてヨルダン川の向こう側に居残ればよかったです。」

「なつては、何を申し上げることができましよう。」
「カナン人や、この地の住民がみな、これを聞いて、
私たちを攻め囲み、私たちの名を地から断つてしま
うでしょう。あなたは、あなたの大いなる御名のた
めに何をなさろうとするのですか。」
「主はヨシシアに仰せられた。」

「立て。あなたはどうしてそのようにひれ伏してい
イスラエルは罪を犯した。現に、彼らは、わたし
彼らに命じたわたしの契約を破り、聖地のものの中
から取り、盗み、偽つて、それを自分たちのものの中
に入れさへした。」

はだからイスラエル人は敵の前に立つことができ
す、敵に背を見せたのだ。彼らが**規範**のものとなつた
からである。あなたがたのうちから、その**規範**のものを
一掃してしまわないなら、わたしはもはやあなたが
たともにはない。

① **立て** 民をきよめよ。そして言え。

あなたがたは、あすのために身をきよめなさい。イスラエルの神、主がこう仰せられるからだ。イスラエルよ。あなたのうちに聖地のものがある。あなたがたがその聖地のものを、あなたがたのうちから除き去るまで、敵の前に立つことはできない。

あしたの朝、あなたがたは部族ごとに進み出なければ

ななければならぬ。主がくじで取り分ける部族は、氏族ごとに進み、主が取り分ける氏族は、家族ごとに進み、主が取り分ける家族は、男ひとりひとり進み出なければならぬ。

15 その聖約のものを持つてゐる者が取り分けられたならば、その者は、所有物全部といふしよに、火で焼かれなければならない。彼が主の契約を破り、イスラエルの中で恥辱になることをしたからである。

↑「世2」=イスラエルの復活↑

ユタの氏族を逐み出させると、セラフ人の氏族が取られた。セラフ人の氏族を男ひとりひとり進み出させると、ザブデイが取られた。

18ザブダイの家族を男ひとりひとり進み出させると、ユダの部族のゼラフの子ザブダイの子カルミの子のブカンが取られた。

「そこで、ヨシュアはアカンに言った。『わが子よ。イスラエルの神、主に栄光を歸し、主に告白しなさい。あなたが何をしたのか私に告げなさい。私に隠してはいけません。』」

20 アカンはヨシユアに答えて言つた。「ほんとに、私はイスラエルの神、主に対して罪を犯しました。私は次のようなことをいたしました。

21私は、方角り物の中にシヌアルの美しい外壁一棟と、銀二百シケルと、目方五十シケルの金の延べ棒一本があるのを見て、欲しくなり、それらを取りました。それらは今、私の天幕の中の地に隠してあり、銀はその下にあります。」

22そこで、ヨシユアが使いたちを遣わした。彼らは
天幕に走つて行つた。そして、是よ、それらが彼の天
幕に隠してあつて、銀はその下にあつた。

23 彼らは、それらを天幕の中から取り出して、ヨシュアと全イスラエル人のところに持って来た。彼らは、それらを主の前に置いた。

23 シアフルは金イスラエルとともに、セラフの子アカンと、銀や、外套、金の延べ棒、および彼の息子娘、牛、ろば、羊、天幕、それに、彼の所有物全部を取つて、アコルの谷へ連れて行つた。

25 そこでヨシユアは言つた。「なぜあなたは私たちに
わざわいをもたらしただのか。主は、きよう、あなたに
わざわいをもたさされる。」全イスラエルは彼を石で

打ち殺し 彼らのものを火で焼き、それらに石を投げつけた。

は燃える怒りをやめられた。そういうわけで、その所の名は、**アコル**の谷と呼ばれた。今日もそうである。

(Jos6:18)における「he:rem」の訳)

新改訳 なた、あなたがたは、聖絶のものに手を出すな。聖絶のものに手を取って、イスラエルの宿営を聖絶のものにし、これにわざわいをもたらさないためである。口語訳 また、あなたがたは、泰納樹に手を触れてはならない。泰納に当り、その泰納物をみずから取って、イスラエルの宿営を、滅ぼさるべきものとし、それを惜ますことのけしきためである。あなたがたはたゞ滅ぼし尽くすべきものを欲けらないように気を付け、滅ぼし尽くすべきものの一部でもかすめ取ってイスラエルの宿営全体を滅ぼすような不幸を招かないようにせよ。泰納物として滅ぼし尽くすべきものは、身の破滅、イスラエルの宿営の滅びを招き、災いをもたらすことになる。唯汝ら祖はれし物を傳へ恐らくは汝ら其を祖はれしものとして獻ぐるに方り其の祖はれし物を自ら取りてイスラエルの陣營さも祖はるものとなしめ之をして懼ましむるに至らん

(アコルの谷・出典)					
イザヤ	65.10	わたしを求めたわたしの民にとって、シャロンは羊の群れの牧場、アコルの谷は牛の群れの伏す所となる。			
ホセア	2.15	わたしはその所を彼女のためにぶどう畑にし、アコルの谷を望みの門としよう。彼女が若かった日のように、彼女がエジプトの国から上って来たときのように、彼女は其所で暮えよう。			
(不償の罪)					
出エジプト	14.11	そしてモーセに言った。「エジプトには墓がないので、あなたは私たちを連れて来て、この荒野で、死なせるのですか。私たちをエジプトから連れ出したりして、いったい何ということを私たちにしてくれたのです。」			
	14.12	私たちがエジプトであなたに言ったことは、こうではありませんでしたか。『私たちのことはかまわないで、私たちをエジプトに仕えさせてください。』事実、エジプトに仕えるほうがこの荒野で死ぬよりも私たちに良かったのです。』			
(「立て」-「復活」)					
ヨシュア	7.10	主はヨシュアに仰せられた。「 <u>立て</u> 。あなたはどのようにしてそのようにひれ伏しているのか。			
		「立て」	ὀψ	ὀψ ku:m	stand, standup
			ἀνίστημι	aniste:mi	raise, rise, getup
					v.imp.aor.act.2s
ヨシュア	7.13	<u>立て</u> 。民をきよめよ。そして言え。あなたがたは、あすのために身をきよめなさい。イスラエルの神、主がこう仰せられるからだ。『イスラエルよ。あなたのうちに、聖絶のものがある。あなたがたがその聖絶のものを、あなたがたのうちから除き去るまで、敵の前に立つことはできない。』			
2マカバイ	7.14	死ぬ間際に彼は言った。「たとえ人の手で、死に渡されようとも、神が再び立ち上がらせてくださるという希望をこそ選ぶべきである。だがあなたは、よみがえって再び命を得ることはない。」			
(罪の告白・罪の赦し)					
1ヨハネ	9.01	もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。			